

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

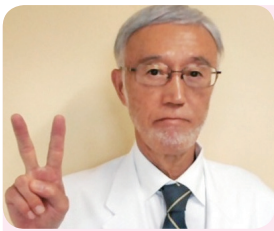
発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
 住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.85

『生きることが 仕事です』

院長 青木 信彦



生きることが
仕事です!

謹んで新春の慶びを申し上げます

平成30年 元旦



『健康で 仕事のできることに感謝!』

- なにもない1日の連続で、365日この1年を過ごせることを願います。
- 9時-5時の下働きですが、わずかでも世の中の役に立てればいいなと思います。
- ほんの小さなことでうれしくなる自分でありますように、と心がけています。

毎日の通勤は片道1時間程度です。
東京のサラリーマンでは平均的でしょう。

ほんとうはそんなにかからないのですが、ブラブラと散歩並みに歩くのようになってしまいました。

職場に近づく立派なミカンの類いが長い期間、目を楽しませてくれます。

青木もあやかって2本のブンタンの苗木をアマゾンで購入してみました。

1本は自宅、もう1本は病院の庭に植えてみました。

ところが、病院のブンタンはアレヨアレヨと枯れかかっているのです。

せせせと水やり、さらには、植え替えもしました。

しかし、重度の栄養低下と脱水なのでしょう、ついに全ての葉は落ちて頼りない幹だけという惨めなターミナルになってしまったのです。

一方、自宅のブンタンはまさに青春時代で、生き生きとした青葉が日の光にまぶしいほどです。



BETHLEHEM GARDEN HOSPITAL



やはり環境の違いなのでしょう。それとも愛情不足なのでしょう。

そんな悲しい思いにうちひしがれていた時に、事務長さんから決定的な情報が入りました。

偶然なのですが、庭園の土壌品質調査を行ったところ、庭園全体の土壌はかなり厳しい劣化状況に陥っていることが判明したのです。

土壌の大きな品質改善は待たなしで、今年の大事業として予定されるとのことです。

青木の2本のブンタンの苗木が病院の庭園の土壌調査結果を証明したことになるです。

疑問はほぼ解決されましたが、悲しいブンタンの苗木への思いはしばらく続きそうです。

今年は何十年に一度の庭園の大改造をするので、患者さん・ご家族ともども職員にも憩いの場となる工夫を盛り込みたいと思います。ゆったりとしたリクライニング椅子や昼食用のテーブル、日よけの parasol などなど、この際、ふんだんに整備しましょう。



第53回 日本カトリック医療施設協会全国大会に参加して

☆ 昨年11月に香川県坂出市で行われた日本カトリック医療施設協会主催「第53回全国大会」に参加してきました。1日目午後は「同じ経験をした人たちがつながることに意義」というテーマで、当院で亡くなられた患者さんのご遺族へのケアの取り組み(グリーフケアの葉書送付・追悼祈りの集い)を紹介し、つながっていくことの課題や意義について発表する機会を頂きました。私の直前の発表も遺族ケアを取り上げており、発表後の質問も、祈りの集い運営の仕方、遺族ケアの感心の高さ、同じ悩みの共有、気づかなかったところの再確認など私にとってもいい機会となりました。

2日目は坂出聖マルチン病院見学。昨年6月に全館完成し、家族室・お御堂など病棟内の細かな心配りに感心しました。病院敷地そばの修道院も新しく建て直し、シスター方の住居の他、サービス付き高齢者住宅・居宅支援事業所なども運営し、他の修道院の方々も利用できるような配慮がなされていました。

ミサにも参加することができ、信者でない私にとっても心が洗われ、大会の内容も、カトリックの病院で仕事してこそ気づきに繋がったものだと思感できました。

(大和 理恵)

☆ 10数年ぶりの飛行機に乗り、高松へ行ってまいりました。事務員では事例を聞いてもわからないのではと不安を抱えながらの参加でしたが、専門用語以外は理解することができとても勉強になりました。

今回、私の任務は事例発表・表彰される大和さんの写真撮ること。しかし、暗い会場の中使えそうな写真は全く撮れず完全に役立たず。(本当にすみませんでした)

帰り高松空港に向かうバスの中、道路脇に警察が多いなと思っていたら、全国育樹祭式典出席のため皇太子ご夫妻がいらっしゃるとのこと。旗を持って一目お会いしようと試みましたが、警察の厚いガードに断念。

次回このような機会がありましたら、遠くでもきちんと写真が撮れるよう腕を磨き参加したいと思います。

(宮崎 奈穂子)

☆ 11月17・18日の2日間、香川県で開催された日本カトリック医療施設協会第53回大会に参加してきました。

1日目は全国の病院や施設からの事例発表など、たくさんの方の緩和ケアに関する話を聞くことができました。2日目は坂出聖マルチン病院の見学をさせて頂き、昨年新しく建て替えた病院ということでしたので、とても綺麗で機能的な作りになっている印象を受けました。

そして、窓ガラスに貼られている小さな十字架がとても可愛くて、外観からは上下4部屋の窓を使って大きな十字架が造られていたのが、とても感動しました。この2日間は、

今の仕事、これからの仕事に生かせる、とても勉強になった研修でした。今回この研修会に参加させて頂けたこと感謝します。

もう一つ私事ですが、香川県は初めてだったので、高松空港にあると言われていた「うどんだし」が出る蛇口を見つけてテンションアップしました。 (昆 真弓)

☆ 11月17・18日、香川県で開催された日本カトリック医療施設協会の全国大会に参加しました。今年のテーマは「いのちを見つめて～医療における出会いと絆～」、事例発表では各施設での取り組み、特に緩和ケア、終末ケア、家族ケアの報告が多くあり、抱えている問題は同じ

でした。共通して言えることは、患者様の心身の苦痛を緩和、または予防できるような適切な声掛け、丁寧な段階に合ったケアをする方法。ご家族には現状の把握と見通しを伝える。悲しみを少しでも緩和できる方法等でした。今回学んだことを取り入れ、少しでも安らげる療養生活を送って頂けるようにしたいと思います。

香川県の観光は出来ませんでしたが、空港でおいしいうどんを食べ、うどん汁がでる蛇口をみて感激しました。このような機会を与えて頂きありがとうございました。

(千葉 博子)





2018 新年のあいさつ



1階病棟

あけましておめでとうございます。

昨年は入退院が多い状況で、スタッフの体調不良が重なり忙しい年でしたが、チームで支え合うことにより乗り切る事が出来ました。

今年は体調に気を付けて、笑顔で明るい病棟づくりと、気配りの看護・介護を目指して頑張ります。

今年も宜しくお願いします。



事務部

あけましておめでとうございます。

皆様にとって良い一年になりますよう、心より祈念致します。ベレレム病院では、地域のニーズに“実践”で応える取組みを昨年より始めました。秋には交流サロン『ベトカフェ』をオープン、これまで30名以上の方々にご利用頂いております。このほか、働きたいけど自信がない方への『就労支援』を毎週実施、現在2名の方が活動中です。今年も皆様にとって身近な病院になれるよう頑張ってお参ります。



薬剤科

あけましておめでとうございます。

昨年薬剤科は科長が交代し、薬剤師2名を新たに迎え、大きく変革した年でした。また病棟薬剤業務を11月から開始しました。病棟にそれぞれ担当の薬剤師を配置して、薬剤師の専門性を発揮し、適切な薬を安全に服用していただけるように努めています。

今年はまだ一段レベルを上げてチーム医療の一員として皆様の期待に応えられるように努力していきたいと思っております。

今年もよろしくお願いいたします。



栄養科

あけましておめでとうございます。

病院食の目的は、疾病の治療あるいは症状回復の促進を図ること、とされています。当院は長期間入院をする方が多いため、急性期のような治療優先の食事ではなく、制約がある中でも美味しく、楽しみや喜びを感じて頂けるように工夫をしています。今年も新たなチャレンジをしながら、栄養科職員一同、心を込めて365日3食提供していきます。

今年もよろしくお願いいたします。



2階病棟

新年、明けましておめでとうございます。

今年も、2階病棟一丸となって、入院患者様の尊厳を守るケア、やすらぎを運ぶ関わりができるよう尽力していきたいと思っております。そして、互いに尊重し合い、笑顔で元気に生き生きと働けるよう、前を向いて、上を向いてパワー全開!! で、まいりたいと思っております。



リハビリテーション科

新春のお慶びを申し上げます。

今年も患者様に寄り合い、賑やかで楽しいリハビリを行っていきたくと考えております。

本年もよろしくお願いいたします!

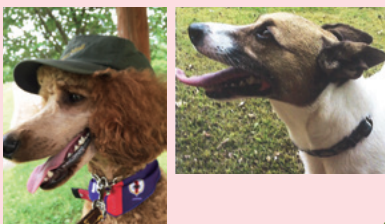


放射線科

あけましておめでとうございます。

本年は戌年でもあり、例年にも増して職務およびガーデンホスピタルの理念に忠実に励みたいと思っております。

下記の写真は山本、野中の愛犬です。どちらのワンコか当ててください、正解は放射線科まで。



外来・中材

外来診療業務の流れをスムーズにし、効率を向上させることを目的とし、新年より外来予約制をスタートしました。急患については臨機応変に対応していきます。スタッフ一同、思いやりの心と笑顔を忘れず邁進していきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



検査科

明けましておめでとうございます。

今年も正確かつ迅速に検査結果をお届けできるように頑張ります。さて、臨床検査科にはいろいろな分析装置がありますが、その中で一番活躍しているのがこれです。生化学検査装置で、血糖や肝機能・腎機能



などの項目を測定します。採血した血液を固めた後、高速回転して得られる液体

(血清)を用いて測定するため結果が出るまでに時間はかかりますが、検査結果を踏まえた診察の一端を担っています。



ひふの話

その
38

市川 雅子(皮膚科医師)

しもやけ(凍瘡)

寒くなると手足(時に耳)が冷えてしもやけになる人がいます。真っ赤に腫れ上がり、時に紫色になったり水ぶくれを作ったりします。温まるとひどいかゆみが出てきてしまう、しもやけになったことがある人は、その辛さは忘れられないでしょう。しもやけは、寒さと寒暖差が大きい時に手足などの末端の血の巡りが悪くなってできるものです。治療としては、軽ければビタミンE軟膏などの血流を良くする軟膏や、時に短期間のステロイド軟膏を塗るだけで済みますが、症状がひどい場合や毎冬繰り返す場合には、血管を広げる薬などを飲みます。そして、しもやけになりやすい人、手足が冷えやすい人は、防寒をしっかりとすることに加えて、飲むものや食べる物

にも注意して下さい。冷たい食べ物や飲み物、夏が旬の野菜や果物、などは避けるほうがいいでしょう。最近よく見かける女性用のパンツ(ズボン)で丈の短い足首が出るタイプのものがありますが、あれは足首を冷やします。足首に限らず、首、手首、腰、、、とくびれている所を冷やすと冷えが悪化し体の不調をきたしやすいようです。特に冷え性の人は、流行を追わず、着る物にも気をつけて下さい。そして靴も重要です。きつめの靴やかかとの高い靴、底の薄い靴も、足のしもやけを起こしやすいのです。

なお、しもやけと似ている違う病気があります。＜凍傷＞は皮膚が凍結することによりおこるもので、寒さによるヤケです。膠原病の人などに見られる＜レイノー現象＞という症状があります。これは指などが冷えるとその血管が異常に細くなり一時的ながら血流がほとんど無くなるため皮膚の色が真っ白から紫になってしまう状態です。いずれも素人判断の治療は禁物。早めに医療機関を受診して下さい。



2017年 クリスマス会

12月19日(火)ベトレヘムの園内では早めのクリスマスを迎えました。ゴミサには酸素をつけて参加する患者さんの姿にご降誕のイエスさまのお姿が重なり、クリスマスの荘厳さを増していたように感じました。そして

今年度4月と11月に就任された医師の井上先生、安原先生も参加され、天使役の4人と共に大活躍、温かな喜ばしい雰囲気の中でクリスマスをお祝いできたことに感謝いたしました。(パストラルケアスタッフ)



編集後記

新しい年2018年が平和で希望に満ちた年となりますように！読者の多くの皆さんはご存知と思いますが、イタリア、ローマ市内に位置し、ローマ教皇が統治する世界最小の国の現教皇フランシスコは毎年1月1日に「世界平和の日」メッセージを出されます。今年のメッセージのテーマは～移住者と難民を受け入れる平和～とし、平和について考えることは

当然、「平和の欠如によりひどく苦しんでいる人々」のことを思うことを意味すると強調しています。まずは日常の中で、周囲を見渡し、「平和の欠如によりひどく苦しんでいる人々」を見つけ、一人ひとりが、自分の立場でできる、平和を築き上げていくために心を傾けて歩みを進めて行こうではありませんか。(JK・T)